

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【公開番号】特開2008-269244(P2008-269244A)

【公開日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2007-110710(P2007-110710)

【国際特許分類】

G 06 F 3/044 (2006.01)

G 06 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/044 B

G 06 F 3/041 3 5 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月5日(2010.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外装部として形成される筐体と、

前記筐体に移動可能に支持されると共に前記筐体の外側に突出する指示部を有する芯体と、

前記芯体の前記指示部に対して側方から外力が加わった際に当該芯体の移動を案内するガイド手段と、

前記ガイド手段に案内されて移動した前記芯体に押圧されることにより圧力を検出する圧力検出器と、を備え、

前記ガイド手段は、前記筐体及び前記芯体の一方に設けられた傾斜面と、前記筐体及び前記芯体の他方に設けられると共に前記傾斜面に摺動可能に係合する係合部からなることを特徴とする位置指示器。

【請求項2】

前記傾斜面は、前記芯体の中心軸に対して傾斜する円錐面或いは角錐面であることを特徴とする請求項1記載の位置指示器。

【請求項3】

前記係合部は、前記傾斜面と平行に延在される係合傾斜面であることを特徴とする請求項1記載の位置指示器。

【請求項4】

前記係合部は、前記傾斜面に点接触される3つ以上の凸部であることを特徴とする請求項1記載の位置指示器。

【請求項5】

前記凸部は、球面を有する球面凸部であることを特徴とする請求項4記載の位置指示器。

【請求項6】

前記係合部は、前記筐体或いは前記芯体に転動自在に支持された球体又は円筒状の回転体であることを特徴とする請求項1記載の位置指示器。

【請求項7】

前記芯体の前記指示部は、毛又は弾力性を有する部材により毛筆形状に形成したことを特徴とする請求項1記載の位置指示器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、座標入力装置は、入力面を有する位置検出装置と、入力面に対して位置を指示すると共にその入力面に対する押圧力を検出可能な位置指示器と、を備えて構成されている。この座標入力装置の位置指示器は、外装部として形成される筐体と、筐体に移動可能に支持されると共に筐体の外側に突出する指示部を有する芯体と、芯体の指示部に対して側方から外力が加わった際にその芯体の移動を案内するガイド手段と、ガイド手段に案内されて移動した芯体に押圧されることにより圧力を検出する圧力検出器と、を備えて構成されている。そして、ガイド手段は、筐体及び芯体の一方に設けられた傾斜面と、筐体及び芯体の他方に設けられると共に傾斜面に摺動可能に係合する係合部からなることを特徴とする。